

都市再生整備計画(第5回変更)

わじき・あいおい

鷺敷・相生地区都市再生整備計画

とくしま なか

徳島県 那賀町

平成24年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	徳島県	市町村名	ナカチヨウ 那賀町	地区名	ワジキ アイオイ 鶯敷・相生地区	面積	600 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標
大目標: まちづくりのビジョン 住民が互いに手をたずさえ、自分たちの手で創る那賀町
目標1 若者や住民の雇用・就業環境の充実及び住環境の整備
目標2 交流拠点の創出と防災機能の向上
目標3 住む人、来る人に魅力いっぱいのもちづくりの創造

目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 ・那賀町の前身である、鶯敷町・相生町・上那賀町・木沢村・木頭村の丹生谷(にゅうだに)5町村は、地理的、歴史的、また産業・文化面においても古くからの結びつきがあり、行政運営においても一部事務組合等で丹生谷地域全体の課題やまちづくりにともに取り組んできた。しかし、一方では過疎化や少子高齢化が進み、多種多様な行政課題に対応するため、平成17年3月1日に合併した。合併後は「那賀町まちづくり計画」をマスタープランとして地域の発展と住民福祉の向上を図る。 ・平成16年那賀町に襲来した台風により那賀町内では土砂崩れ、洪水等により非常に大きな被害を受け、今もなお災害復旧におわれ心に大きな痛手を受けている。現在、南海・東南海地震の対応を含め、住民が安全で安心して住むことができる災害等に強いまちづくりを進めている。相生地区町民体育館は、地域住民の活動拠点となっており、災害時には避難施設となっているため耐震改修の必要がある。また、幼稚園と保育所が地理的に離れており職員が分散し、非常時には乳幼児の避難に対して危機管理体制の強化が指摘されている。 ・現在、若者の流失に加え少子高齢化が人口の減少に拍車をかけている。地元企業も少なく若者が地元で定住するには企業誘致や雇用の場の確保が地域住民からの大きな要望である。旧鶯敷町においては、昭和60年、大塚製薬(株)と工場誘致の調印を行い、小仁宇工業団地を造成し昭和61年には大塚製薬グループの大塚テクノ(株)が操業を開始し、平成元年には大塚製薬(株)徳島ワジキ工場が完成した。この工場誘致では、鶯敷地区だけではなく那賀町内や隣接する阿南市においても雇用が増えあらゆる面で地域が活性化された。これに続き平成14年度から平成16年度に豊饒の杜開発事業として工業団地の造成事業を行い約10haの工業団地が完成し、この工業団地に企業誘致を図るべく努力をしているが、企業誘致のためには基盤整備が必要であり、公営住宅等の整備や工業用水道の機能強化、子育て支援施設の整備を図ることが必要である。 ・那賀町は、総面積694.86km ² と広い面積を有し、この面積は徳島県の17%を占めているため、町全域における住民のコミュニティが希薄になりがちである。住民相互が交流し、情報の発信や交換等が行える地域コミュニティ活動を支援する交流拠点施設が必要である。また、災害時には、広大な地域の被災情報等の集中管理を行う拠点施設が必要である。
課題 ・那賀町の人口は、11,320人(平成18年4月30日現在)であるが、コーホート変化率法により地域の人口を推計すると、平成27年には9,045人と1万人を下回る結果となる。また、年代別の人口割合においては、年少人口及び生産年齢人口の割合が減少する一方、高齢人口割合は増加が続き、平成27年には住民の約4割が高齢者になり地域の就業人口が低下することが見通される。このような結果から、若者などの地域外への流出を防ぎ定住を促進するために、良好な公営住宅の整備や民間住宅の誘導、また、企業誘致を進め就業環境の充実を促進する必要がある。 ・広大な面積を有する本町において距離的なハンディを克服するためには、交流拠点となる施設の整備は欠かせない重要課題であり、地域住民が交流し情報の発信や交換ができる施設が必要である。また、台風や地震に対する防災情報を住民にいち早く伝達したり、町外の方には通行止め等の道路情報案内のできる災害時の情報拠点となる施設が求められている。 ・防災においては施設が老朽化しているため耐震化を進める必要がある。特に、多くの人を収容できる相生地区町民体育館は地域の体育、文化の拠点として利用されており避難所としても指定されていることから耐震改修を行う必要がある。 ・別居世帯の増加で夫婦共稼ぎにより子育て支援の要望が強く、企業誘致により町外からの通勤者からも入所希望が多いため就業環境の整備を図る必要がある。
将来ビジョン(中長期) 『那賀町まちづくり計画』に沿ったまちづくりの推進 基本理念: 住民が「安全で安心して心豊かに誇りを持って暮らすことのできる那賀町」にするには「地域・世代を超えた互いを思いやる心」「住民が互いに手をたずさえ、自分たちの手で創る那賀町」を基本理念とする。 将来像: このような理念のもとに住民・企業・行政がそれぞれの役割を認識し、地域の価値や潜在能力を十分発揮できるまちづくりを目指して、「住む人、来る人に魅力いっぱいのもち」を将来像とする。 (1)自然環境に配慮した優しいまちづくり (2)誰もがゆとりの中で安心して生活できるまちづくり (3)すべての人に優しい福祉のまちづくり (4)みんなでつくる個性と活力があふれるまちづくり (5)すべての人の個性や創造性がいきづく教育文化のまちづくり (6)地域の特性を活かしてさまざまな産業が育つまちづくり

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
1 定住人口	人	公営・民間住宅、分譲住宅の居住者数	公営住宅の整備、民間や分譲住宅の促進を図り定住人口を増やす	318	平成17年度	362	平成23年度
2 就業人口	人	地域内の誘致された企業における就業者数	企業誘致による雇用の場の確保や就業環境の整備により就業人口を増やす	395	平成17年度	485	平成23年度
3 避難施設の収容人数	人	避難所として適切な設備を備えた施設の収容人数	整備する施設に避難所としての機能を備え、収容人数を増やす	3000	平成17年度	3481	平成23年度
4 保育サービス人口	人	幼稚園・保育所を統合し、子育てで支援を行うことによる保育サービスを受ける人口	幼稚園・保育所を統合し、子育てで支援を行うことにより保育サービスを受ける人口を増やす	189	平成17年度	226	平成23年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
整備方針1 若者や住民の雇用・就業環境の充実及び住環境の整備 ・工業用水を確保すると共に、既存工業団地への企業誘致を推進し、若者や住民の雇用・就業機会の充実に努め、地域外への流出を防ぐ。また、定住を促進するために、良好な公営住宅の整備や民間住宅の誘導などを実施する。 ・幼児の健全な育成を図るため、保育所と幼稚園の連携を密にし、施設の整備充実を図る。 ・子育て世代が子どもを一時的に預けることにより就業活動や文化活動、購買活動等を促進すると共に、親同士の交流や情報交換等を図る。		地域創造支援事業(提案事業/工業用水整備事業) ・公営住宅等整備事業(基幹事業/公営住宅整備事業) ・地域創造支援事業(提案事業/驚敷こども園整備事業) 高次都市施設(基幹事業/子育て世代活動支援センター)
整備方針2 交流拠点の創出と防災機能の向上 ・常時は地域住民が交流し、情報の発信や交換ができる拠点施設として、また、災害時においては広大な各地域の被災情報を集中管理し、避難所となる施設を整備する。 ・災害時における避難所としての機能の向上を図るとともに、地域間の交流を進め活力ある地域づくりを支援するため町民体育館を整備する。 ・災害時に安心して避難できるように、橋梁や道路の改修を実施する。		高次都市施設(基幹事業/地域交流センター) 地域生活基盤施設(基幹事業/相生地区町民体育館耐震改修) 道路(基幹事業/中山すくの谷橋梁改修・町道田中線改良事業)
整備方針3 住む人、来る人に魅力いっぱいのまちづくりの創造 ・住民、企業、行政が個々の役割を認識し、知恵と力を結び、思いやりの心を持ち、すべての人が心豊かに誇りを持って暮らし、地域の価値や潜在能力が十分に発揮できるまちづくりを目指す。		まちづくり活動推進事業(提案事業/住む人、来る人に魅力いっぱいのまち推進計画の策定、企業誘致活動、民間住宅誘導活動、保育サービス向上研修活動、防災意識の高揚、交流機会の創造)
その他		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,331	交付限度額	525.0	国費率	0.395
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	事業 細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		中山すくの谷橋	那賀町	直	21.0m	H19	H19	H19	H19	45	45	45		45
公園														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—	那賀町	直	—	H19	H20	H19	H20	265	265	265		265
高質空間形成施設		—			—									
高次都市施設		—	那賀町	直	—	H19	H22	H19	H22	298	298	298		298
既存建造物活用事業		—			—									
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型 沿道等整備型 密集住宅市街地整備型 耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備		実施地域	那賀町	直	16戸	H21	H23	H21	H23	273	373	273		273
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										881	981	881	0	881

提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
地域創造 支援事業		工業用水整備事業	那賀町	直		H19	H20	H19	H20	215	215	215		215
		蔵敷こども園	那賀町	直		H19	H19	H19	H19	232	232	232		232
事業活用調 査		—			—									0
		—			—									0
まちづくり活 動推進事業	住む人、来る人に魅力いっぱいのもち創造事業	那賀町全域	那賀町	直	—	H19	H19	H19	H19	3	3	3		3
合計										450	450	450	0	450

	0	450
合計(A+B)		1.331

[illegible]

鷺敷・相生地区(徳島県那賀町)	面積	600	ha	区域	那賀町の鷺敷地区・相生地区
-----------------	----	-----	----	----	---------------

Topographic map of the Sashiki and Aioi regions in Naga City, Tokushima Prefecture. The map shows the Naga River (那賀川) flowing through the area, with various valleys and hills. Key locations marked include Sashiki Junior High School (鷺敷中学校), Sashiki Elementary School (鷺敷小学校), Naga Police Station (那賀警察署), Naga City Office Main Hall (那賀町役場本庁), and Naga City Office Aioi Branch (那賀町役場相生支所). The map also shows the Naga River (那賀川) and the Naga River (那賀川) flowing through the area. The map includes a scale bar (1:50,000) and an inset map showing the location of Naga City within Tokushima Prefecture.